

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.384】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヘンリク・ヴィエニャフスキ

曲名：ヴァイオリン協奏曲第1番嬰へ短調 op. 14

演奏：HIMARI (ヴァイオリン)/セバスティアン・ヴァイグレ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55647>

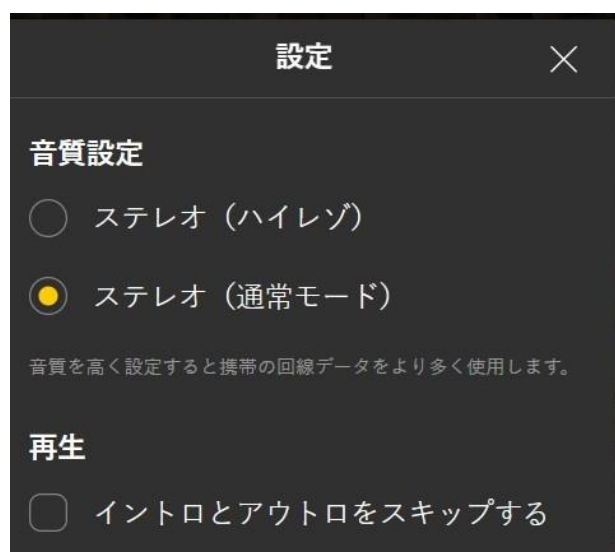
2025年3月23日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



今回は、放送ストリーミング情報(2025No.372)と同じ音源を使用して再生条件の最適化を検討します。

これまで Digital Concert Hall の配信では、STAGE+のようなブツブツノイズの経験はありません。

そこで再生画面の歯車マークを開きますと、次のような画面が出てきました。



Windows のサウンド設定は 44.4KHz、Brooklyn DAC+の外部クロック入力も 44.4KHz です。

ChatGPT で通常ステレオ配信の仕様を調べますと、以下のようになっています。

音声フォーマット：AAC（ロッシェー圧縮）

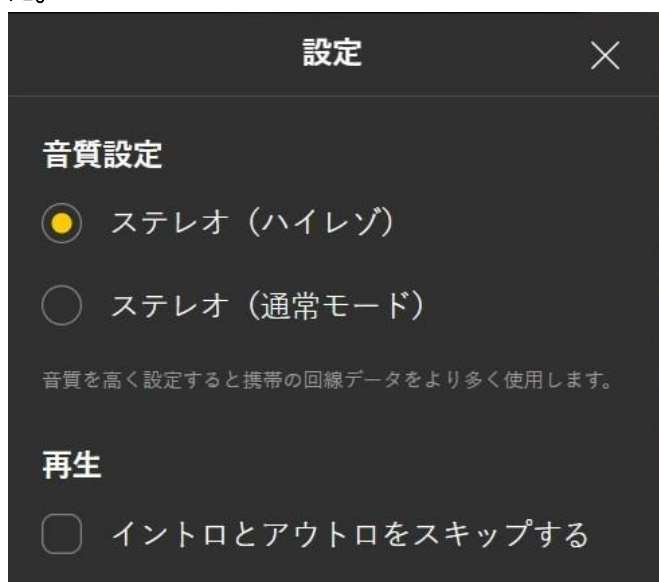
ビットレート：320 kbps

サンプリング周波数：44.1 kHz

量子化ビット数：16 bit 相当

それゆえ、Windows のサウンド設定も外部クロック入力の周波数もマッチしていたということになります。

そこで、音質設定をステレオ（通常モード）からステレオ（ハイレゾ）に替えてみました。



ハイレゾステレオの音声仕様を ChatGPT で調べてみますと次のようになります。

ハイレゾステレオ：FLAC（ロスレス） 24bit / 48kHz

この条件下で、対応すべきサウンドの設定（44.1KHz or 48KHz）、クロック機器（GPS777 or ABS-7777 or なし）、入力クロック周波数（44.1KHz or 48KHz）などを網羅的に調べてみることにしました。結果を文末の表で示します。

まず言えることは、サウンドの設定と入力クロック周波数は一致させるべきことです。GPS-777 では、サウンドの設定と入力クロック周波数を 48KHz にした場合、わずかにノイズが残ります。この意味では ABS-7777 はノイズがでにくくクロック打ち直し許容範囲が広いようです。

なお、音質について SOUND 設定で 44.1KHz の場合に GPS-777 と ABS-7777 からの 44.1KHz クロック入力と内部クロックを比較してみましたが、顕著な違いはありませんでした。

また、SOUND 設定で 44.1KHz の場合に GPS-777 からの 44.4KHz クロック入力
でステレオ（ハイレゾ）とステレオ（通常モード）を切り替えてみましたが、音の
緻密さはこの順に低下するようです。いずれにしても音源や好みに合わせて調節す
ればいいと思います。

以上から、音源の特性に合わせてこまめに条件設定をするか、できるだけ高音質の
モードを選択して、DAC は内部クロックにするのが、手間がからない方法と言えま
す。

結論としては、選択したモードの周波数を調べて、サウンドの設定をそれに合わ
せ、DAC は内部クロックにすることが無難な選択と思われます。

Site	format	SOUND設定	Clock機器	Clock周波数	結果
BPODCH	STERO(HiRes)	44.1KHz	GPS-777	44.1KHz	わずかにノイズ が残る
BPODCH	STERO(HiRes)	44.1KHz	GPS-777	48KHz	音がでない
BPODCH	STERO(HiRes)	44.1KHz	ABS-7777	44.1KHz	ノイズなし
BPODCH	STERO(HiRes)	44.1KHz	ABS-7777	48KHz	音がでない
BPODCH	STERO(HiRes)	44.1KHz	NONE	可変	ノイズなし
BPODCH	STERO(HiRes)	48KHz	GPS-777	44.1KHz	音なし
BPODCH	STERO(HiRes)	48KHz	GPS-777	48KHz	わずかにノイズ が残る
BPODCH	STERO(HiRes)	48KHz	ABS-7777	44.1KHz	音がでない
BPODCH	STERO(HiRes)	48KHz	ABS-7777	48KHz	ノイズなし
BPODCH	STERO(HiRes)	48KHz	NONE	可変	ノイズなし

以上